

## 日光白根山の火山活動解説資料（平成 27 年 8 月）

気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### 活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図 1）  
歌ヶ浜遠望カメラ（日光白根山の南東約 13 km）による観測では、山頂部に噴気は認められません。
- ・地震活動（図 2 - 、図 3）  
日光白根山付近を震源とする火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。  
火山性微動は観測されていません。
- ・地殻変動の状況（図 2 - ~ 、図 4）  
GNSS<sup>注</sup>連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

注）GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図 1 日光白根山 山頂部の状況  
（8月7日 歌ヶ浜遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 27 年 9 月分）は平成 27 年 10 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『2万5千分1地形図』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

計数基準変更		計数基準：五色沢振幅 1.0 μm/s 以上、S - P1.5 秒以内
開始	2010 年 12 月 10 日 ~ 2011 年 3 月 10 日	計数基準：五色沢振幅 10.0 μm/s 以上、S - P1.5 秒以内
変更	2011 年 3 月 11 日 ~ 2013 年 6 月 30 日	計数基準：五色沢振幅 2.0 μm/s 以上、S - P1.0 秒以内
変更	2013 年 7 月 1 日 ~	

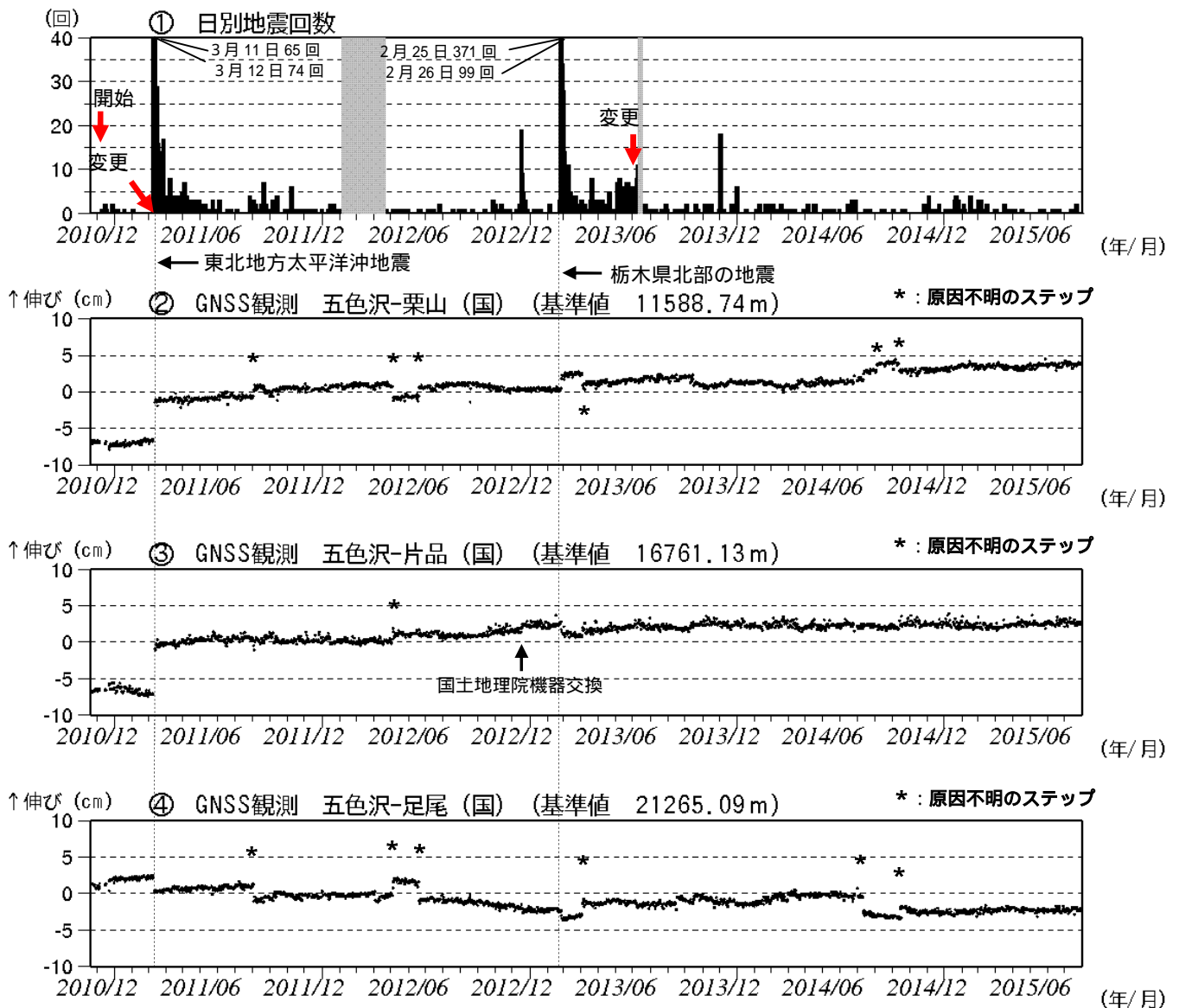
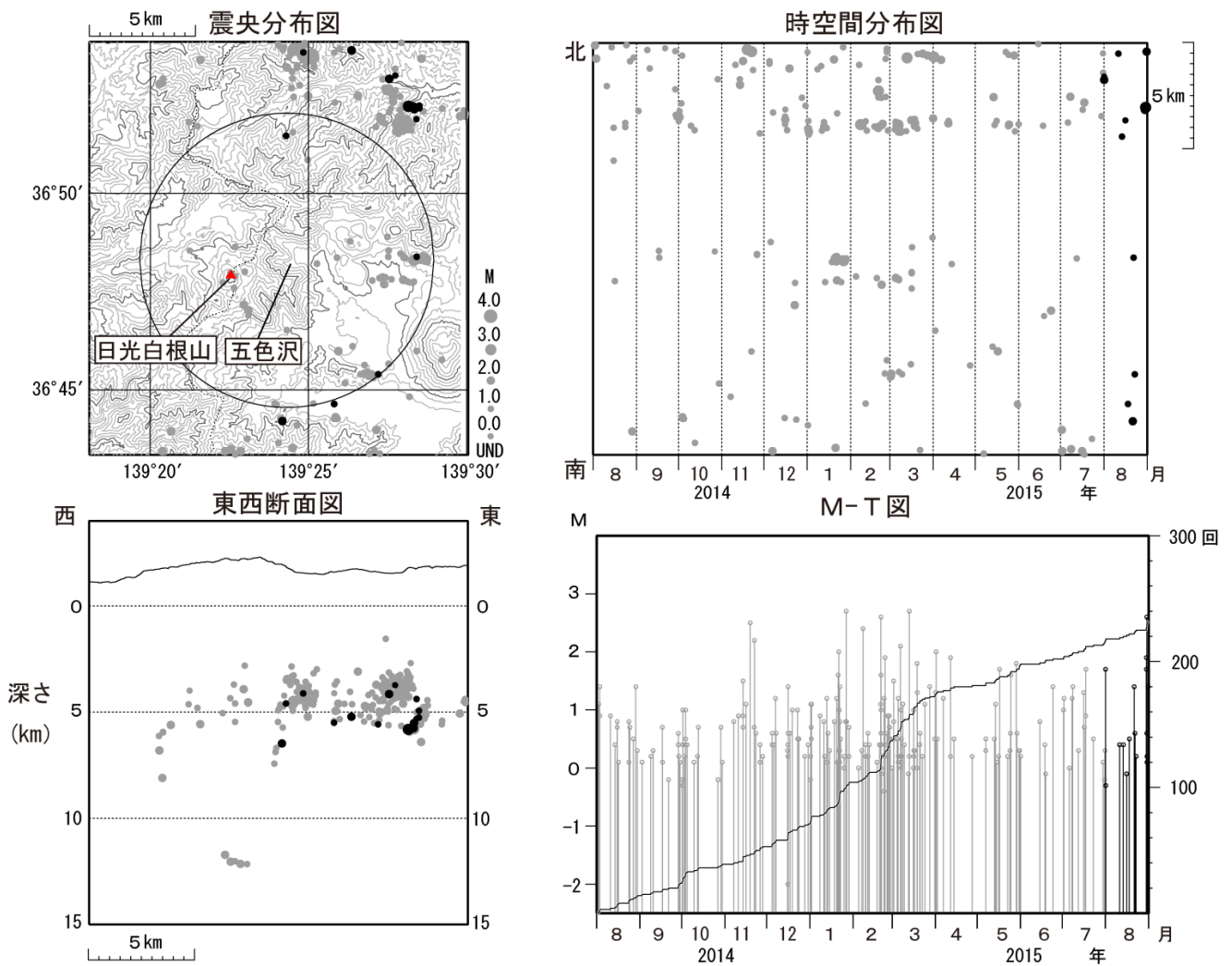


図2 日光白根山 火山活動経過図（2010年11月20日～2015年8月31日）

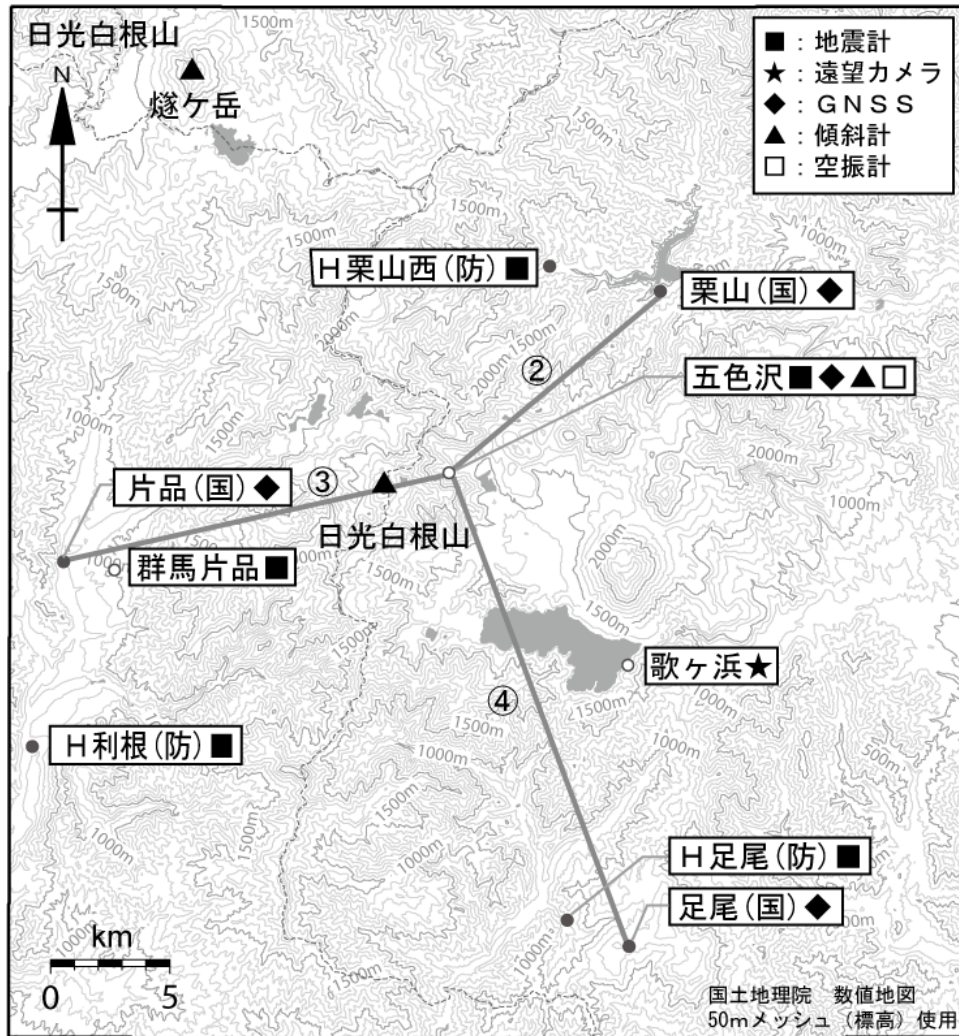
日光白根山周辺の日別地震回数

- ・ 2010 年 12 月 10 日観測開始
- ・ 2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震以降、日光白根山の周辺で地震活動が活発な状況となりましたが、その後、地震活動は低下しました。また、2013 年 2 月 25 日に発生した栃木県北部の地震以降、日光白根山の周辺で再び地震活動が活発な状況となりましたが、その後、地震活動は低下しました。
- ・ グラフの灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- ～ GNSS 連続観測による基線長変化 (国): 国土地理院
- ・ 五色沢観測点の運用開始日: 2010 年 11 月 20 日
- ・ 2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震及び 2013 年 2 月 25 日に発生した栃木県北部の地震の影響により、ステップ状の変化がみられます。
- ・ グラフの空白部分は欠測を示します。
- ・ ~ は図4の ~ に対応しています。



: 2014年8月1日～2015年7月31日      : 2015年8月1日～8月31日

図3 日光白根山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2014年8月1日～2015年8月31日)  
 ・震央分布図中の円は図2 - の計数対象地震(五色沢でS - P時間1秒以内)のおよその範囲を示します。  
 ・M(マグニチュード)は地震の規模を表します。  
 ・図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。  
 ・日光白根山付近を震源とする地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (国) : 国土地理院、(防) : 防災科学技術研究所

図 4 日光白根山 観測点配置  
 GNSS 基線 ~ は図 2 の ~ に対応しています。